



第20号

2009・11

江南市国際交流協会  
Konan Society for Internationalization

## 第14回 国際交流フェスティバル

～見つけてみよう世界のともだち  
来て、見て、出会って、世界の輪～

8月23日(日) すいとぴあ江南

2,500名の市民や外国人の皆さんが会場を訪れ、韓国伝統舞踊や、南米のダンスをはじめ、各国の人とのおしゃべりコーナー、日本の伝統文化（お茶席体験や能楽）に触れるなど様々なイベントで、多文化交流を楽しみました。

また、折り紙や竹とんぼ、押し花、習字などの体験コーナーでは、子どもたちも楽しく参加しました。



韓国の伝統舞踊を、地域で活動する「舞姫」の皆さんが華麗に披露しました。



ブラジル人学校「ドンボスコ」の生徒たちが、楽しいブラジルの踊りを見せてくれました。



外国をもっとよく知ろうと企画したお国自慢横丁では、様々な国の人たちと来場者が会話を楽しみました。



フェスティバル内限定で利用できる通貨「ふくら」を利用して各国の料理を楽しむ人たちの姿も多く見られました。



フレンドシップ国の子どもたちに贈る絵には350点の応募があり、当日展示を行いました。後日現地に送付いたします。



屋外では各国の料理の出店があり、多くの人で賑わいました。江南市のキャラクター「藤花ちゃん」も大人気でした。



80名の中高生ボランティアが参加者への案内などを頑張りました。恒例の「みんなでおどろ!」では、楽しく交流をしました。



栗本 務 会長

## 5月16日(土) 江南市民文化会館

多くの在住外国人の方を含め、100名を超える多くの会員・ボランティアが集まり、総会が開催されました。栗本会長のあいさつ等に続いて議事が進行し、終了後には、「不況のなか、外国人が置かれている現状について」の報告会があり、世界的

な不況の影響で派遣切りや解雇に遭い、再就職が困難なか、ホームヘルパーの資格を取得し、病院に勤務することになった日系ブラジル人の女性や、ふくらの家の日本語支援教室で毎日勉強し、漢字も読めるようになり再就職を果たした男性などから苦労しながら仕事を得た話に、参加者たちは真剣に耳を傾けていました。

報告会のように



## 国際交流クッキング教室

6月29日(日)セーシェル諸島料理教室

インド洋上にあるセーシェル諸島出身のジャン・クロード・アーウェンさんの指導で、鯖のハーブ焼き、タコカレーなどを作りました。試食をしながら、講師の方から現地の暮らしなどを聞き、セーシェル諸島への理解を深めました。



## 国際理解講座

7月4日(土)江南市民文化会館

タイ出身のワニダーさんに、タイの伝統文化や風習を楽しいエピソードを交えて紹介していただくとともに、伝統舞踊をこの日のために練習を重ねたボランティアの皆さんと披露してもらいました。



## ブルキナファソへ学用品・スポーツ用品が届きました

協会では、皆様のご厚意により、寄付をいただいたスポーツ用品と学用品を、今年の2月、「愛・地球博」で江南市のフレンドシップ国として交流を深めたアフリカのブルキナファソに贈り、このたび、受け取った子どもたちの写真が送られてきました。スポーツ用品は、日本の国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員の指導を受け野球などのスポーツに励んでいる子どもたちに、また、学用品は、現地の小学校で有効に使われます。今後とも皆様のご支援をお願いします。

スポーツ用品と子どもたち



学用品が届いたよ！



# ふくらの家だより ～日本語特別支援教室から～

ふくらの家では、不況のために失業した外国の人たちの再就職を支援するために、月～金曜日まで日本語特別支援教室を開催しています。

## 支援サポーターから

「お世話になります」「よろしく申し上げます」…精一杯の日本語が飛び交います。仕事をなくし再就職をめざす外国の人にとって、日本語習得は必須の条件になります。以前は派遣会社の人やってくれていた事も自分でやらなければなりません。履歴書に漢字で住所を書くところから始まります。次は、面接の練習です。礼の仕方や服装など細かいチェックが入ります。毎日の積み重ねで、この教室から多くの人が就職先を見つけました。正社員でなく、パートやアルバイトであっても家の生活を支えることができるのです。10月から「ママさん教室」も始まりました。乳幼児を抱えながらも日本語を習得したい人たちが集まっています。同じくらいの歳の子を持っている方が託児をし、子育ての相談にもなっています。笑顔いっぱいの教室です。(H. H)



教室のようす

## 中学生学習支援教室が始まりました。

外国人の定住化が進み、公立中学校に通う中学生が増えてきました。日本での生活や学校での学習に必要な日本語能力の向上を目指し、12名の子どもたちが週2回の放課後、ボランティアの支援を受けながら、勉強をがんばっています。



## 外国人のための防災教室

6月14日(日)岐阜県本巣市

45名が参加し、地震の体験や断層の観察を地震断層観察館、根尾谷断層で行いました。「地震の怖さがよくわかった」、「地震の仕組みが勉強できた」という声が聞かれました。



# ようこそKONANへ!

- ①江南市の印象
- ②趣味・特技
- ③コメント

トラン フィ バンさん (ベトナム出身)

- ①きれいで安全な町
- ②音楽・水泳
- ③母国に帰ってから通訳になり、日本とベトナムの架け橋になりたい。



エンドウ ロゼリさん (ブラジル出身)

- ①静かな町、友達がいっぱいいる町
- ②サンバを踊ること、カラオケ
- ③日本の文化(お茶、お花、太鼓など)を覚えて、ブラジルの人に教えたい。



# INFORMATION

## 賛助会員を募集します。

江南市国際交流協会 (KSI) では、国際交流、多文化共生に関心のある方のご入会をお待ちしております。

### ●入会資格

本協会の趣旨にご賛同いただける個人・法人・団体 (市外の方も可)

### ●賛助会費 (年額)

個人	1口	2,000円
法人	1口	10,000円
団体	1口	5,000円

※1口以上何口でも可

### ●申込方法

直接、協会事務局へお越しいただくか、電話でお問い合わせください。国籍は問いません。

## ボランティアを募集します。

江南市国際交流協会 (KSI) では次のようなサポート活動に興味のある方、又ご協力いただける方の登録を随時受け付けます。

- 日本語教室支援ボランティア
- 外国人児童学習支援ボランティア
- 通訳・翻訳ボランティア
- 事業ボランティア  
(国際交流フェスティバルなどイベントの準備や運営)
- 広報・情報誌・PR活動
- クッキング教室ボランティア
- ホームステイ受入れ

## 江南市の外国人登録者数 (2009年9月末現在)

合計 (人)	男 (人)	女 (人)
1,866	860	1,006

江南市の人口：102,103人 うち国籍別登録人数：ブラジル745人、フィリピン313人、中国302人、韓国・朝鮮221人、ペルー115人など 35カ国

## ふくら 江南市国際交流協会ニュース

2009年11月発行 発行：江南市国際交流協会  
〒483-8701 江南市赤童子町大堀90  
江南市役所 教育委員会生涯学習課内  
TEL (0587) 54-1111 FAX (0587) 56-5517

## ふくらの家での活動

ふくらの家は、子ども塾をはじめ、中学生への国際理解講座、在住外国人の生活相談、市民への外国語講座など在住外国人と市民とのふれあいの場として活用されています。ぜひお立ち寄りください。  
(江南市古知野町古渡142-2 電話0587-56-7390  
Eメール fukura@feel.ocn.ne.jp)

## 日本語教室の場所

.....月曜日教室.....

### 江南市老人福祉センター 江南市中央コミュニティセンター

江南市古知野町宮裏121番地  
TEL 0587 (54) 9300

毎週月曜日  
19時～21時



.....日曜日教室.....

### 宮田地区学習等供用施設

江南市後飛保町野75-1  
TEL 0587 (57) 0400

毎週日曜日  
(初級クラス)  
13時～15時



.....金曜日・日曜日 (夜間) 教室.....

### 江南市立 布袋北部地区 学習等供用施設

江南市木賀町新開278番地  
TEL 0587 (54) 5535

毎週金曜日  
19時～21時  
毎週日曜日  
19時～21時



国際交流協会のホームページ  
<http://konansi.web.infoseek.co.jp/>

江南市国際交流協会 | 検索

★ふくらの家のブログも掲載しています。

## ふくらの家ご案内図

